

分

析

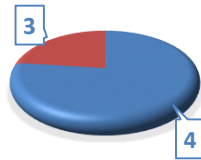
全体傾向と課題

本校の学校評価は、自己評価（教職員）と学校関係者評価（保護者評価）で年に一度実施している。また、昨年度から児童を対象とした学校生活調査を学期に1回実施し、子ども自身の自己評価も行っている。この評価結果を元に、次年度の学校経営に反映させている。5段階評価から4段階評価に移行して3年目になり、良い（4・3）か悪い（2・1）の評価が明確になると共に、3年間の比較もすることができる。項目は全16項目で、前半9項目が「学校は～」で始まる教職員・学校に関する質問。また後半7項目は「児童は～」又は「お子さんは～」で始まる児童に関する質問の構成になっている。

各項目別の分析

No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
						4	3	2	1
1	教職員	学校は学校教育目標達成のために努力している。	3.77	3.74	3.54	77%	23%	0%	0%
	保護者	学校は学校教育目標達成のために努力している。	3.44	3.35	3.3	44%	56%	0%	0%

4	77%
3	23%
2	0%
1	0%



教職員

4	44%
3	56%
2	0%
1	0%



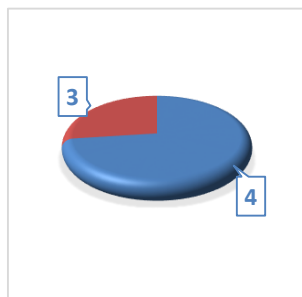
保護者

学校教育目標の各項目については、アンケート用紙にも掲載した。教職員・保護者共に、今年度も評価が上がっている。学校教育目標は目指す学校の姿を端的に示したもので、具現化するためには、具体的活動目標の各項目に依らなければならない。したがって「活力のある学校」の評価は全体像をイメージして評価したものと思われる。

今後も、教職員が学校教育目標達成のためにさらなる努力を続け、保護者の評価が満点4.00点に対して3.60（90%）以上となるよう目指したい。

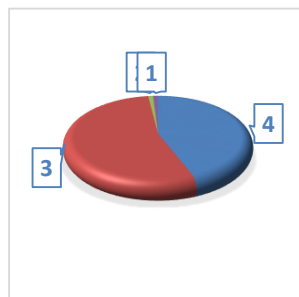
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
						4	3	2	1
2	教職員	学校は教育内容を保護者・地域に知らせている。	3.73	3.71	3.42	73%	27%	0%	0%
	保護者	学校は教育内容を保護者・地域に知らせている。	3.42	3.35	3.30	44%	54%	1%	1%

4	73 %
3	27 %
2	0 %
1	0 %



教職員

4	44 %
3	54 %
2	1 %
1	1 %



保護者

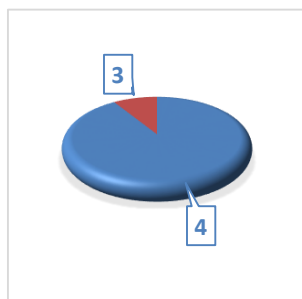
家庭や地域の方々が学校の様子を直接見る機会は年4回の学習参観や、運動会、メロディーフェスティバル、東っ子まつりなどの学校行事の時であるが、その機会だけで教育内容を理解して頂くことは難しい。

その為、学校における教育活動を、家庭や地域に知らせるために学校だより、学年だより、ホームページ等を活用し、積極的に情報発信している。

今年度、回答者の98%の方が肯定の評価をしているが、まだまだ不十分であると感じている方もいるので、今後も丁寧な情報発信を心掛けていきたい。

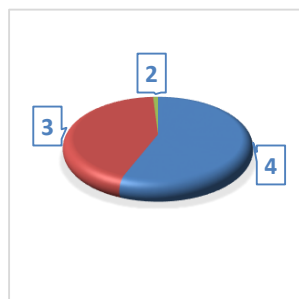
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
						4	3	2	1
3	教職員	学校は来校者や保護者に対して親切に対応している。	3.91	3.9	3.54	91%	9%	0%	0%
	保護者	学校は、来校者した保護者に対し丁寧に対応している。	3.55	3.52	3.49	56%	43%	1%	0%

4	91 %
3	9 %
2	0 %
1	0 %



教職員

4	56 %
3	43 %
2	1 %
1	0 %

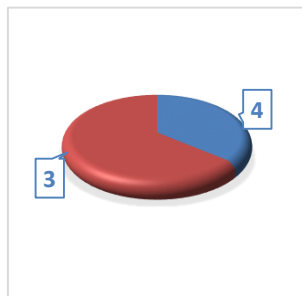


保護者

教職員は、来校者や保護者の方に対して丁寧な対応を意識して心掛けている。保護者の評価は昨年よりも上がり、99%の方が肯定の評価である。しかしながら、1%の方が不十分と感じていらっしゃることを真摯に受け止め、保護者や来校者の方々に対して、今後も誠意を持って丁寧な対応を心掛けていきたい。

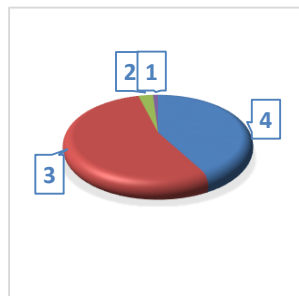
No.	項目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
4	教職員 学校は熱心で分かりやすい授業に努めている。	3.36	3.58	3.35	4 36%	3 64%	2 0%	1 0%
	保護者 教職員は、熱心で、分かりやすい授業に努めている。	3.37	3.27	3.24	4 42%	3 53%	2 3%	1 1%

4	36%
3	64%
2	0%
1	0%



教職員

4	42%
3	54%
2	3%
1	1%

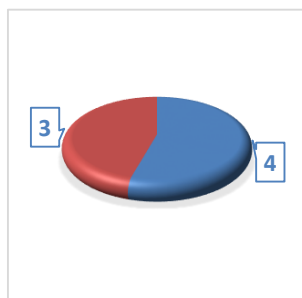


保護者

教職員の評価が昨年度よりも0.22下がってしまったが、保護者の評価は0.1上がっている。今年度の本校の研究主題は「主体的に問題を解決する子どもを育てる指導方法のあり方」であり、教職員は子ども達の学習意欲の向上の為に、学習形態を工夫するなど試行錯誤を繰り返しながら指導に当たっている。その為、子ども達にとっては主体的に学習をする場が増え、分かり易い授業になってきているが、教職員はもっと子ども達の力を引き出して行きたいという思いから、自分たちに対して厳しい評価をしている。どの職員も熱心に指導に当たっているの、更に分かりやすい授業となるよう今後も校内研究を進めていきたい。

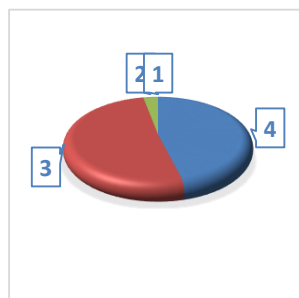
No.	項目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
5	教職員 学校は体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.55	3.61	3.24	4 55%	3 46%	2 0%	1 0%
	保護者 学校は、体験的な学習を通じて自然や人々と触れ合う機会を設けている。	3.43	3.41	3.30	4 46%	3 51%	2 3%	1 0%

4	55%
3	46%
2	0%
1	0%



教職員

4	46%
3	51%
2	3%
1	0%

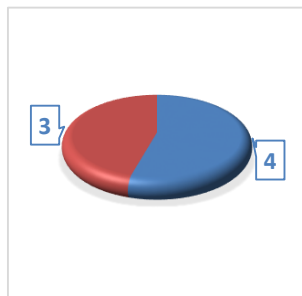


保護者

体験的な学習は、教科指導、校外学習や林間学校・修学旅行など全般を通じて積極的に取り入れている。生活科や総合的な学習の時間では、各学年、栽培活動や人との交流活動に意欲的に取り組んでいる。その為、保護者の方の評価は若干ではあるが昨年度よりも上がっている。教職員に関しては、平均評価は0.06下がってはいるが、全職員が肯定的な評価になっており、意識して指導に当たっていることが分かる。今後も、体験的な活動を十分に取り入れ、子ども達の「生きる力」の育成を目指して行きたい。

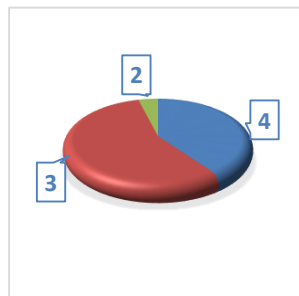
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
6	教職員	学校は清掃活動に力を入れている。	3.55	3.52	3.58	4	3	2	1
						55%	46%	0%	0%
	保護者	学校は、清掃活動に力を入れて取り組んでいる。	3.35	3.3	3.22	4	3	2	1
						40%	56%	4%	0%

4	55%
3	46%
2	0%
1	0%



教職員

4	40%
3	56%
2	4%
1	0%

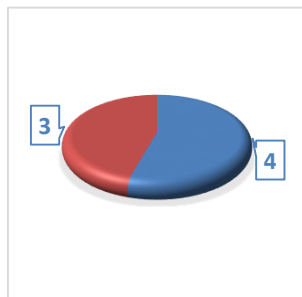


保護者

本校の児童の多くは、大変熱心に清掃活動に取り組んでいる。しかしながら、年々児童数が減少していく中で、この広い校舎敷地及び校庭等の屋外の敷地全てを十分に清掃していくことは難しい。3、4年生のボランティア清掃、5、6年生の特別清掃隊、生活委員会による朝清掃など児童の自主的な活動は広まってきているが、行き届かない部分も残ってしまっている。今後は、清掃活動に加えて、いかに施設を汚さないように使用していくかについても指導していきたい。

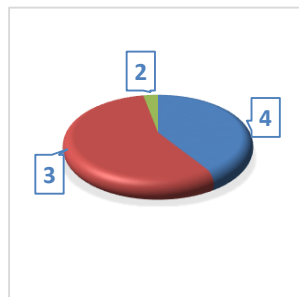
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
7	教職員	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.55	3.61	3.42	4	3	2	1
						55%	46%	0%	0%
	保護者	学校は、防災・安全指導に力を入れて取り組んでいる。	3.37	3.36	3.25	4	3	2	1
						41%	56%	3%	0%

4	55%
3	46%
2	0%
1	0%



教職員

4	41%
3	56%
2	3%
1	0%

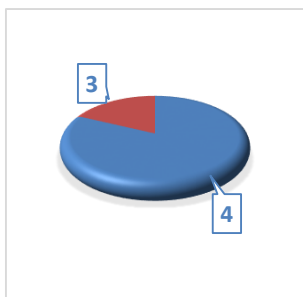


保護者

今年度は、校内での防災訓練・引き渡し訓練に加え、我孫子市総合防災訓練とタイアップして、防災教室も開催し災害時の対応について考える機会を増やした。また、4年生が夏休み前に1、2年生に向けて学区の安全についてのプレゼンテーションをするなど、学年を越えた防災学習も取り入れた。登下校時の身の守り方についても適宜各学級で指導を行うなど、安全指導には力を入れてきているが、十分ではないと感じている保護者の方が3%いることを重く受け止め、今後も防災・安全指導についてはしっかりと取り組んでいきたい。

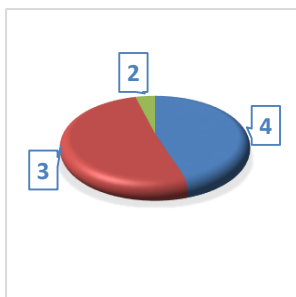
No.	項目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
8	教職員 学校は、生徒指導（挨拶・返事・くつの整理等）に力を入れて取り組んでいる。	3.82	3.68	3.73	4 82%	3 18%	2 0%	1 0%
	保護者 学校は、生徒指導（挨拶・返事・くつの整理等）に力を入れて取り組んでいる。	3.41	3.42	3.35	4 45%	3 51%	2 4%	1 0%

4	82%
3	18%
2	0%
1	0%



教職員

4	45%
3	51%
2	4%
1	0%

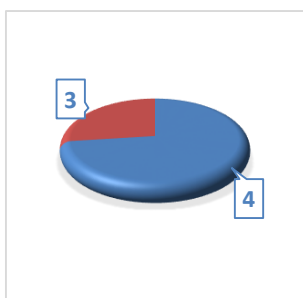


保護者

本校の学校経営の重点でもある挨拶については、今年度力を入れて指導してきた。生活委員会を中心に「挨拶運動」にも取り組み、校内では多くの児童が気持ちの良い挨拶ができるようになってきている。中には受け身の児童もいるが、挨拶をされれば返すことができている。返事や靴の整理についても各学級で取り組み、児童は意識して生活している。保護者の平均評価が昨年度より0.1下がってしまったが、否定的な評価は7%から4%に減っている。今後も、生徒指導に力を入れ、保護者の方の平均評価が3.6 (9

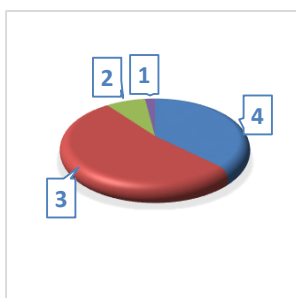
No.	項目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
9	教職員 学校は、いじめなど個々に問題を抱える児童に対して必要な支援を行っている。	3.73	3.71	3.54	4 73%	3 27%	2 0%	1 0%
	保護者 学校は、いじめなど、個々に問題を抱える児童に対し支援を行っている。	3.25	3.28	3.11	4 37%	3 52%	2 8%	1 2%

4	73%
3	27%
2	0%
1	0%



教職員

4	37%
3	52%
2	8%
1	2%

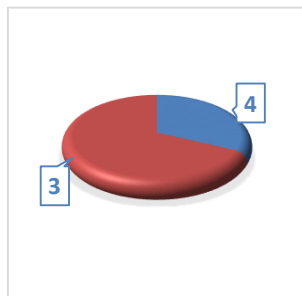


保護者

今年度も、年2回のいじめアンケートやセクハラ・体罰調査、個人面談などを実施した。さらに、3年生以上の児童についてはQ-U検査を2回実施し、児童の困難に寄りそい、支援を行ってきた。支援方法は、校内委員会を開くなどし、担任だけでなく「チーム東小」という形で、様々な立場の教職員が協力して行っている。しかしながら、保護者の方の評価が下がっているのは、まだ個々が抱えている問題がうまく解消していない児童がいるためであると考えている。まずは、児童の気持ちに寄りそうという姿勢で今後も支援を続けていきたい。

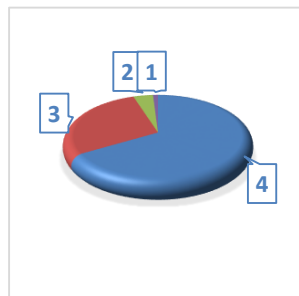
No.	項目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
10	教職員 児童は学校に楽しく登校している。	3.32	3.48	3.31	4 32%	3 68%	2 0%	1 0%
	保護者 お子さんは、学校に楽しく登校している。	3.58	3.58	3.55	4 66%	3 28%	2 4%	1 1%

4	32%
3	68%
2	0%
1	0%



教職員

4	66%
3	28%
2	4%
1	1%

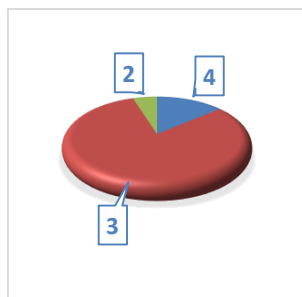


保護者

教職員の平均評価は昨年度に比べて0.16下がっているが、全て肯定的な意見である。保護者の方の平均評価は昨年度と同じであるが、評価別割合を見ると4の「あてはまる」を選択している人の割合は2%上昇している。しかしながら、5%の保護者の方が否定的な回答をしていることから、「分かる授業」「居心地の良い学級づくり」「部活動」などのさらなる充実を目指し、どの児童も楽しく登校できる学校づくりを目指していきたい。

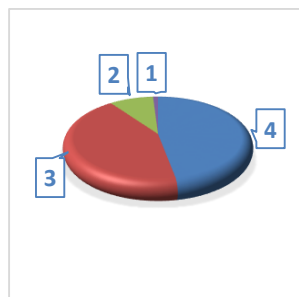
No.	項目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
11	教職員 児童は熱心に授業に取り組み、学習した内容について理解している。	3.09	3.45	3.04	4 14%	3 82%	2 5%	1 0%
	保護者 お子さんは、熱心に授業に取り組んでいる。	3.37	3.38	3.38	4 47%	3 43%	2 9%	1 1%

4	14%
3	82%
2	5%
1	0%



教職員

4	47%
3	43%
2	9%
1	1%

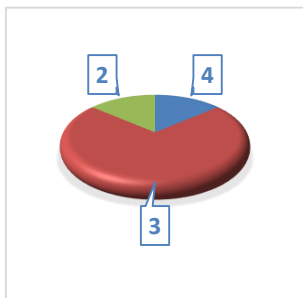


保護者

本校の研究主題が「主体的に問題を解決する子どもを育てる指導方法のあり方」ということから、教職員は熱心に教材研究を行い、分かり易い授業を目指して取り組んではいる。しかしながら、若い教職員が多いこともあり、まだまだ学習した内容の定着につながらない部分もある。今後も、子ども達のやる気を引き出す授業づくり、分かり易い授業づくりを心掛け、子ども達が主体的に学習に取り組めるよう努めていきたい。

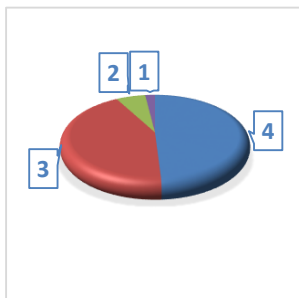
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
12	教職員	児童は宿題や自主学習等の家庭学習を行っている。	3.00	3.39	2.92	4	3	2	1
						14%	73%	14%	0%
	保護者	お子さんは、宿題や自主学習を家で行っている。	3.39	3.37	3.3	4	3	2	1
						49%	43%	6%	2%

4	14 %
3	73 %
2	14 %
1	0 %



教職員

4	49 %
3	43 %
2	6 %
1	2 %

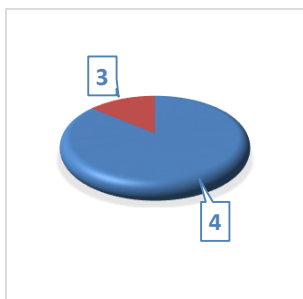


保護者

宿題や自主学習への取り組みについて、保護者の平均評価は0.02とわずかに上昇しているが、教職員の平均評価は0.39下がっている。このことから、児童が家庭で机に向かう機会は維持されているが、取り組み内容が十分でないことがうかがえる。家庭学習に関しては、学校と家庭とが連携していかななくては十分な成果は得られないので、家庭学習の取り組み方について、保護者にもきちんと説明する場を設け協力を得る必要がある。基礎基本の学力の定着には反復学習が不可欠であるため、継続的に家庭学習に取り組めるよう家庭と協力して支援していきたい。

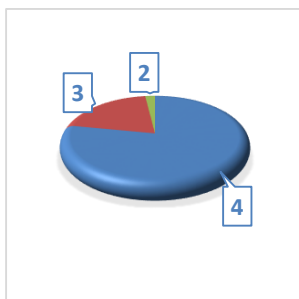
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
13	教職員	児童は学校行事（運動会・校外学習等）に楽しく参加している。	3.86	3.74	3.54	4	3	2	1
						86%	14%	0%	0%
	保護者	お子さんは、学校行事（運動会・校外学習等）に楽しく参加している。	3.76	3.7	3.59	4	3	2	1
						78%	20%	2%	0%

4	86 %
3	14 %
2	0 %
1	0 %



教職員

4	78 %
3	20 %
2	2 %
1	0 %

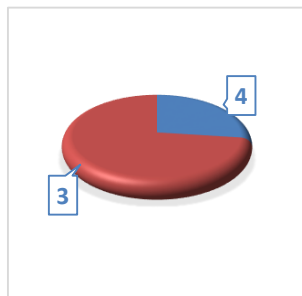


保護者

年々この項目の評価は両者ともに上昇し、高い評価となっている。児童は各行事に対して真剣に取り組む、友達と協力してやり遂げる達成感を味わい成長している。普段、なかなか友達の輪に入りきれない児童も行事を楽しむに準備し、参加している。それぞれに役割を与え責任を持ってやり遂げさせることで成就感や感動を味わわせられるよう教職員は企画運営を心掛けている。今後も、児童達が生き生きと活躍できる学校行事を目指していきたい。

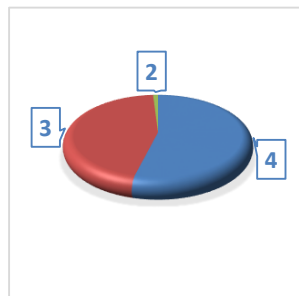
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
14	教職員	児童は社会や学校のルールを守って生活している。	3.27	3.29	3.19	4 27%	3 73%	2 0%	1 0%
	保護者	お子さんは、社会や学校のルールを守って生活している。	3.52	3.46	3.41	4 54%	3 45%	2 1%	1 0%

4	27 %
3	73 %
2	0 %
1	0 %



教職員

4	54 %
3	45 %
2	1 %
1	0 %



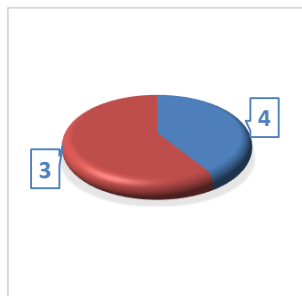
保護者

保護者の評価は年々徐々に上昇しているが、教職員の評価は例年とほぼ同じ状況である。本校の児童は、基本的なルールや学校のきまりをしっかりと守ろうとする児童がほとんどである。しかしながら、時折自分の気持ちを優先してしまう部分もあり、ルールを守って生活することの必要性を指導している。

また、プライベートな時間のスマートフォンやネット等によるSNSの使い方によるトラブルも心配されるため、今年度は4年生以上の児童及び保護者向けの講演会を開催し、ネット社会に潜む危険について学ぶ機会を設けた。

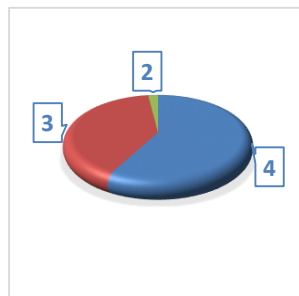
No.		項 目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
15	教職員	児童は学校や学級で好ましい友達関係を持っている。	3.41	3.45	3.15	4 41%	3 59%	2 0%	1 0%
	保護者	お子さんは、一緒に遊んだり勉強したりする友だちがいて、友だちにやさしく接することができる。	3.57	3.47	3.49	4 58%	3 40%	2 2%	1 0%

4	41 %
3	59 %
2	0 %
1	0 %



教職員

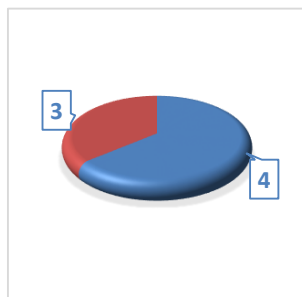
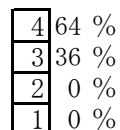
4	58 %
3	40 %
2	2 %
1	0 %



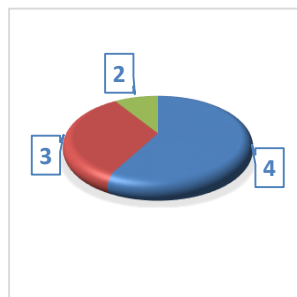
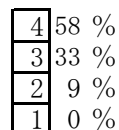
保護者

本校の児童は、友達に対して思いやりを持ち優しく接する児童が多い。学校は社会生活を学ぶ場である。集団には様々な個性を持った人たちがいて、その中でよりよい人間関係を築くためにはどうしたらよいのかということ学ぶ場である。来年度の道徳の教科化に向けて、本校では今年度道徳の授業研究を数多く行い、子ども達の心の成長を目指してきた。今後も、児童が好ましい人間関係を築けるよう支援を続けていきたい。

No.	項目	H29平均評価	H28年	H27年	評価別割合			
16	教職員 児童は外で元気に遊んだり，運動したりしている。	3.64	3.61	3.54	4 64%	3 36%	2 0%	1 0%
	保護者 お子さんは，外で元気に遊んだり，運動したりしている。	3.48	3.45	3.35	4 58%	3 33%	2 9%	1 0%



教職員



保護者

東小学校は広い校庭に恵まれているため，児童は休み時間だけでなく朝も，放課後も元気に思い思いの運動や遊びに励んでいる。また，業間休みを利用した「持久走」や「リズム縄跳び」「長縄跳び」などを行い，全校児童で体力作りに取り組んでいる。多くの児童が「持久走」の時期には，休み時間に自主的に持久走練習を行ったり，「縄跳び」の時期には，朝から放課後まで時間を見つけては新しい技に挑戦したりと大変意欲的に運動に励んでいる。中には，運動が苦手な児童もいるため保護者の中には不安を感じている方もいてそれが数字に表れてきているものと思われる。児童の体力向上を目指し，今後も楽しく運動ができる仕組み作りに取り組んでいきたい。

学校評議員(学校関係者)の意見とまとめ

- No 9 「いじめなど個々に問題を抱える児童に対しての必要な支援」について，先生方から見ると小さいさかいのようなものも，親は心配しているのではないかと。アンケート結果を受けて面談をしたり，何かあったときにはすぐに保護者へ連絡したりしているということであったが，その後の様子についても保護者に連絡を入れる等，保護者への働きかけも継続的に行うと良いのではないかと。
- No 9 「いじめなど個々に問題を抱える児童に対しての必要な支援」について，いじめのアンケートを取ることは大事である。本人は深刻に思っているが，親や教師など大人から見るとそうでないものもある。アンケートを通して教えてあげられるのは良いことである。話を聴いてもらえるのは良い。子ども達も考え方をかえられる。
- No 9 「いじめなど個々に問題を抱える児童に対しての必要な支援」について，いじめについては難しい。学校だけではなく，学校外のものもある。感受性が強い子もいるので，悪気がなくやったことがそうとらえられてしまうこともある。学校は，小さなことにも気づける目を持ち，対処していくことを続けて欲しい。
- No 10 「学校に楽しく登校している」について，保護者の評価よりも教職員の評価が低くなっているが，何をもち「楽しい」と感じるかは人によって評価が異なる。保護者は，学校に行っていれば楽しく行っていると思っている人もいないのではないかと。
- No 10 「学校に楽しく登校している」に関連して，不登校については担任だけではなく相談員や管理職も一緒に対応しているということであるが，学校だけの問題ではないと思うので，他との連携も必要ではないかと。
- No 13 「学校行事に楽しく参加している」について，全校で行う「卒業を祝う会」は素晴らしかった。全体的に上下関係が密な感じがして，6年生と下学年の交流の様子が見られ一体感があつた。